

核兵器禁止条約を力に、日本政府に禁止条約の署名・批准を 2021年原水爆禁止

5月13日（木）国民平和大行進・宣伝カーは
海南市内を走りました。



海南市秘書課 海南・海草原水協の吉本さんが市長、議長からの協賛金を受け取ります。



海南市庁舎前 左から海南・海草原水協の岩橋さん、中谷さん、吉本さん、宣伝カー運行者荒金さん

5月13日（木）曇りです。平和行進宣伝カーは海南市へと入りました。

海南・海草地域では、海南民商・宣伝カーをお借りしています。海南民商事務所で宣伝カーに平和行進横断幕やポスターのデコレーションを付け、午後2時から海南市内（小野田、日方、大野中、内海）を宣伝カーで走りました。海南市庁舎駐車場で海南・海草平和委員会の荒金敦さんと合流、午後3時から荒金さんが海南市・東部を宣伝カーで走りました。

午後4時、地元海南・海草原水協の吉本さん、中谷さん、岩橋さんと県原水協事務局で、海南市秘書課を訪問しました。秘書課では担当の方が対応、海南市長と海南市議会議長からの協賛金を受け取りました。市長と議長には、「意見広告ポスター」をお渡しいたしました。又、総務課では「被爆者募金箱」を交換させていただきました。

市庁舎前では、地域海南・海草役員3人より平和行進・宣伝カーを送り出させていただきました。

平和行進・宣伝カーは「♪ 今年1月22日、核兵器禁止条約が発効しました。核兵器廃絶を願う世論に後押しされ、4月時点で86カ国が署名、うち54カ国が批准をしています。しかし、残念なことに、ヒロシマ・ナガサキ・ビキニと3度にわたる原水爆被害を経験し、その非人道性と恐ろしさを一番わかっているはずの私たち日本の政府は、核兵器禁止条約に背を向けており、世界中から驚きと落胆の声があがっています。戦争による唯一の被爆国である日本が核兵器禁止条約に参加すれば、核兵器廃絶の流れにさらなる勢いを与え、アメリカなど核保有国に対しても大きな意思表示となります。被爆国であり、戦争放棄・戦力不保持の憲法9条をもつ日本こそ、核兵器禁止条約に参加し、世界の非核平和実現に向けて力を発揮するべきです。」と訴えるアナウンスをして走りました。

5月14日は、紀美野町に宣伝カーは入ります。

県原水協事務局